第三葉

島地制規制定之件

島地制規布告案別紙二通調査
致候ニ付世段報告候也

明治十六年五月廿日　参事院議友補里田飛彦

参事院議友補清浦奎吾

参事院議友補股野琢

参事院議友補馬屋原彰

参事院議友補西村捨三

参事院議友補井上毅

国立国会図書館

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 267-8

参事院議長山縣有朋殿

参事院議長伊藤博文

布告案

島地制規左之通相定ム

第一條　島地ハ司ヲ置キ此制規ニ依リ之ヲ管理セシム

第二條　司ヲ置クル島地ハ府知事縣令ヨリ内務ヲ経テ具状シ政府ノ裁可ヲ経テ此制規ニ依リ之ヲ管理スルコトヲ得

第三條　此制規ニ依テ管理スル島地ハ郡区町村編制法ヲ施行セス

第四條　司廨ノ諸費ハ國庫ヨリ支辨

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 267-8

し島吏諸費ハ島費ヲ以テ支辻ス

第五條 全島ニ関スル経費ハ豫算及徴收方法ハ府知事幹令若クハ司長ニ於テ之ヲ定ムルヲ可シ但島地ニ便宜ニ依リ島會議ヲ起シテ之ヲ議セシムルコトヲ得其會議ニ関スル規則ハ府知事幹令若クハ司長ヲ内務ニ具状シ政府裁可ヲ経テ之ヲ施行スル可シ

第六條 法律規則ハ島地ニ施行シ難キモノハ府知事幹令若クハ司長ヲ内務ニ具状シ政府ニ之ヲ施行セサルコトヲ得

第七條 司長及島吏ハ裁判事務ヲ兼掌スルコトヲ得

司長ハ審判輕罪裁判所ノ權限島吏ハ治安ノ違警罪裁判所ノ權限ヲ越ルコトヲ得ス但人事其他金額ニ見積ル可キモノハ島吏ニ於テ裁判スルコトヲ得

右事勅旨布告仮事

年月日

太政大臣

内務卿

参事院

参事院

島地制規制定ノ件

島嶼ハ土俗人情陸地ト大ニ其趣ヲ同フセサルヲ以テ総テ舊慣ニ依リ其制度ヲ異ニセンカ為ノ方法規則ヲ草スヘキハ曾テ内命セラルヽ所ナリ是ニ於テ小官等島地ノ慣習ヲ酌ミ陸地ノ制度ヲ量リ審論討議シテ別紙ノ如ク島地制規及島司職制等ヲ起草セリ而シテ其經費ヲ計シハ毎年國庫ノ支辨ニ屬スルモノ大略七萬七千七十六圓其他實地ノ情勢ニ依リ廳舍官舍ノ新

参事院

繁或ハ航海運輸ノ費用ヲ要スルモノナシトセス然リト雖モ今小官等カ起草スル所ノモノハ聊未タ其地ヲ踐マス國未タ其風ヲ觀ス只傳聞世説ニ依テ編制シタルモノナリ之ヲ實地ニ施スヤ隔靴掻痒ノ憾アルノミナラス或ハ島地ノ情況ニ適セサルモノアラン若シ其之ヲ適實完備ナラシメントセハ先ツ人ヲ實地ニ派遣シ土俗人情舊政ノ組織物産ノ多寡運輸ノ便否從前ノ収税支出方法維新以降縣治ノ得失人民ノ利害其他陸地ト制ヲ異ニスルニ於テ要用ナル事件ヲ視察檢覈シ然ル後ニ彼此酌取捨セハ蓋シ大ナル過チ莫ラン乎方法規則草案ヲ呈スルニ臨ミ聊カ意見ヲ附シテ以テ上ル草案起稿ノ理由ハ別ニ口頭陳述スル所アラントス

明治十六年三月廿日

議官補落合濟　三

議官補大森鍾一

負議官補白根專一

議官安場保和

議官福羽美静

参事院議長山縣有朋殿

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 267-8

布告案

第號

自今島地ノ儀ハ左ノ制規ニ依リ陸地ト其制ヲ異ニシ總テ舊慣ニ依ラシム但其制ヲ異ニスルヲ要セサルモノハ此限ニ在ラス

島地制規

第一條 島地ハ郡區編制法ニ依ラス內務卿ノ具狀ニ因リ島長ヲ置キ之ヲ管理セシム其島長ヲ置カサルモノハ府縣ノ所管トス

第二條 島吏ノ名稱配置及選舉ハ舊慣ニ依ル但府知事縣令又ハ島長ニ於テ差支アリト認ムルモノハ內務卿ノ認可ヲ得テ之ヲ改ムルコトヲ得

第三條 島廳ノ諸費ハ國庫ヨリ支辨シ島吏ノ諸費ハ島費ヲ以テ支辨ス可シ

第四條 全島ニ關スル經費及徵收ノ方法ハ府知事縣令若シクハ島長ニ於テ之ヲ定ム可シ但島地ノ便宜ニ依リ島會議ヲ起シテ之ヲ議セシムルコトヲ得

第五條　刑法及兵事國税戸籍并外國人ニ関ス
ル法例ハ陸地ト同ノ之ヲ施行ス但刑法中違
警罪ハ府知事縣令又ハ島長ニ於テ適宜之ヲ
實施スルコトヲ得
前項ノ外現行法律ノ島地ニ於テ不便ナキモ
ノハ之ヲ施行スルコトヲ得
第六條　島長及島吏ハ裁判事務ヲ兼掌スルコ
トヲ得
島長ハ始審并輕罪裁判所ノ權限島吏ハ治安
并違警罪裁判所ノ權限ヲ越フルコトヲ得ス
但人事其他金額ニ見積ル可カラサルモノハ
舊慣ニ依リ島吏ニ於テ裁判スルコトヲ得
右奉　勅旨布告候事
年　月　日
太政大臣
内務卿

第號
今般佐渡隱岐壹岐對馬及大島小笠原島ニ島廳
ヲ置キ管轄左ノ通之ヲ定ム
佐渡島廳　佐渡國一圓

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 267-8

隱岐島廳　　隱岐國一圓
壹岐島廳　　壹岐國一圓
對馬島廳　　對馬國一圓
大島島廳　　大隅國大島郡一圓
小笠原島島廳　　小笠原島一圓

右奉　勅旨布告候事

年　月　日

太政大臣
内務卿

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 267-8